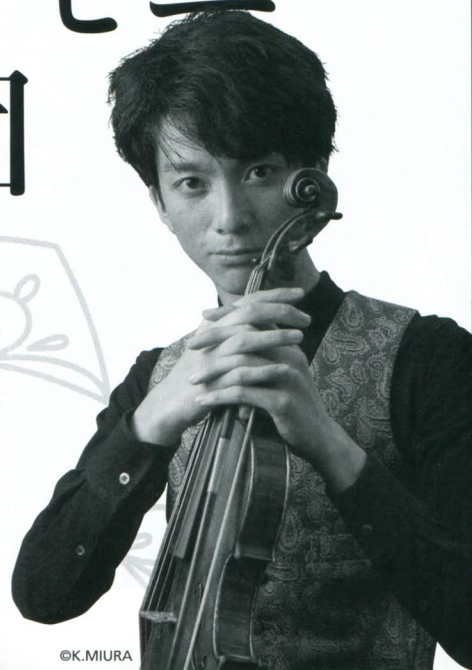


大阪フィルの重厚なサウンドでお届けするオール・チャイコフスキー・プログラム

大阪フィルハーモニー交響楽団



第206回
吹田市民劇場

七夕コンサート

まつもとしゅうりひと 松本宗利音

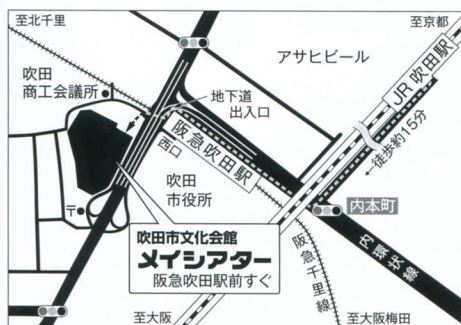
1993年大阪府出身。東京藝術大学音楽学部指揮科卒業時に最優秀賞であるアカンサス賞を受賞。指揮を尾高忠明、藏野雅彦、高関健、田中良和、ヴァイオリンを澤和樹、曾我部千恵子の各氏に師事。藝大在学中にはダグラス・ポストック、パーヴォ・ヤルヴィ両氏のマスタークラスを受講。これまでに山形響、仙台フィル、群馬響、東京響、東京シティ・フィル、新日本フィル、読売日響、名古屋フィル、京都市響、大阪フィル、関西フィル、大阪響、日本センチュリー響などに客演。2019年4月から2022年3月まで札幌交響楽団指揮者として道内はもちろん各地で共演を重ねた。これからの音楽界を担う期待の指揮者の一人と注目される存在である。

やまねかずひと 山根一仁

1995年札幌生まれ。中学校3年在学中、2010年第79回日本音楽コンクール第1位、およびレウカディア賞、黒柳賞、鷲見賞、岩谷賞(聴衆賞)並びに全部門を通し最も印象的な演奏・作品に贈られる増沢賞を受賞。同コンクールで中学生の1位は26年ぶりの快挙であった。以後、桐朋女子高等学校音楽科(共学)在学中より国内外の音楽祭、マスタークラスでソロ、室内楽ともに研鑽を積み音楽賞、ディプロマなど数多く受賞。国内外のオーケストラと共演を重ね、テレビ・ラジオの出演も多い。これまでに故富岡萬、水野佐知香、原田幸一郎の各氏に、またドイツ国立ミュンヘン音楽演劇大学ではクリストフ・ポッペン氏に師事。

大阪フィルハーモニー交響楽団

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立。1960年改称。2022年、創立75周年を迎えた。創立から2001年までの55年に亘り朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務めた。大植英次音楽監督時代には「星空コンサート」「大阪クラシック」といった大型プロジェクトで注目を集め、2014~2016シーズンは井上道義を首席指揮者に迎え、「シスタコーヴィチ／交響曲第4番」「交響曲第7番」「交響曲第11番」の録音で高い評価を得た。2018年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開している。2017年度文化庁芸術祭・優秀賞受賞。2017~2018年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、大阪文化祭賞を二年連続で受賞。2023年1月、最新盤となる「エルガー／交響曲第2番」(尾高忠明指揮：2022年4月録音)をオクタヴィア・レコードよりリリース。<https://www.osaka-phil.com>



ご案内

- 車椅子をご利用のお客様のご予約は、メイシアターのみにてお受けいたします。
- 開演時間に遅れますと、指定のお席にご案内できない場合がございます。

アクセス

- 吹田市泉町2丁目29-1
 - 阪急千里線吹田駅前すぐ・阪急大阪梅田駅より乗車 15分
- ※お客様用の駐車場はございませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

<https://www.maytheater.jp>

